

図書館の職員さんに聞いてみよう!  
**本**のはなし  
話題の**新刊!**



(一般書)  
**ラプカは静かに弓を持つ**  
著: 安壇 美緒  
出版: 集英社

少年時代のある事件から心を閉ざしてきた橘は、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠を掴むこと。美しい孤独なスパイが最後に手にするのは…。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。(大宇陀図書館所蔵)



(児童書) **どうぶつせんきょ**  
作: アンドレ・ホドリゲス、ラリッサ・ヒベイロ、パウラ・デスグアウド、ペドロ・マルクン  
訳: 木下 真穂 監修・解説: 林 大介  
出版社: ほるぷ出版

森の王様だったライオンが、水を独り占めしてプールをつくり、みんなはカンカン。フクロウの助言で、選挙をすることになり…ブラジルでのワークショップをもとにした、子どもが選挙や民主主義について考えるための絵本。(大宇陀図書館所蔵)

## 図書館からのまめ知識

Vol.102

### 図書館の歴史について

図書館の歴史は古く、日本では、奈良時代に石上宅嗣が私邸内につくった「芸亭」と称する書齋が一般に公開されたのが始まりと言われています。鎌倉時代から室町にかけては武家文庫が登場し、中でも足利文庫と金沢文庫(神奈川県横浜市)が有名です。北条氏滅亡後に徳川家康は、書物の刊行と普及を奨励し、各地に文庫を形成し、家康が創設した秋山文庫は、江戸時代で一番大きな文庫です。明治時代には福澤諭吉が「図書館」という概念を日本に紹介し、その後、近代公共図書館「書籍館」が明治5(1872)年に設立されます。しかし、当時の図書館は、大部分が有料で、昭和25(1950)年の図書館法制定により無料となりました。こうして、人々の利用が広まり「図書館」が浸透するようになったのです。皆さんが気軽に利用できる図書館として、お待ちしております。

図書館からのお知らせは P25

## 第10回宇陀市長杯 まちおこし還暦野球大会 開催

7月16日・17日

総合運動場で第10回宇陀市長杯まちおこし還暦野球大会を開催し、全国から18チームが参加しました。宇陀市からも宇陀ウェルネスが出場し、暑い中、おじいちゃんたちによる熱い戦いが繰り広げられました。古希の部では雨天のため奈良マスターズおよび高取オール古希が優勝し、還暦の部では、4ブロックでのトーナメント選を行い、寿野球熊野クラブ(三重)、高取オール寿(奈良)、玉野・野球人(岡山)、大阪河南球友クラブ(大阪)がそれぞれ優勝しました。



## 宇陀市吹奏楽フェスティバル

7月24日

文化会館において、「第6回宇陀市吹奏楽フェスティバル」が開催され、市内4中学校と県立高等学校の吹奏楽部、そして宇陀市市民吹奏楽団による演奏が繰り広げられました。コロナ禍のため、ゲスト演奏や主演者全員による演奏はありませんでしたが、高校は今年で閉校する大宇陀高校、そして榛生昇陽高校と新設宇陀高校による3校の合同演奏や、先生方も一緒に演奏された学校があったりと、各団体とも工夫を凝らした内容でした。



## ～水の事故から命を守るために～ 着衣水泳法講習会 開催

7月26日

毎年、多くの水難事故が発生しています。宇陀市子ども会連合会では、市内の小学生を対象に、「着衣水泳法講習会」を室内温水プールで開催しました。この着衣水泳法を学ぶことにより、水の事故に遭っても、慌てずに落ち着いて浮いて呼吸を確保しながら、助けを待つことができるようになります。参加した子どもたちは、最初はうまくできなくても練習を重ねるうちに「浮いて呼吸を確保する水泳法」を身につけることができました。



## 特別天然記念物 オオサンショウウオ夜間観察会

7月30日

室生振興センター・もみじ公園周辺の室生川にて、「特別天然記念物 オオサンショウウオ夜間観察会」を行いました。初めに、講師の三重自然誌の会 清水善吉先生による、オオサンショウウオについての事前学習がありました。その後、実際に川に入って、オオサンショウウオの搜索を行いました。今回の観察会では、再捕獲の日本種1頭と、中国との雑種と見られる新規個体1頭を捕獲し、体重・体長の計測や、DNA鑑定のために新規個体のしっぽの一部を採取しました。参加した子どもたちからは「かわいい」「大きい」「目が小さい」など色々な感想が聞け、清水先生に直接質問している様子も見られました。宇陀市には、オオサンショウウオが生息する河川がいくつかあります。今回のような行事を通じて、オオサンショウウオについて多くの方に知っていただき、彼らの住む河川の環境保全や交雑問題などについて考えてもらうきっかけになればと思います。



## 差別をなくす市民集会 開催

7月16日

7月の差別をなくす強調月間の取り組みの一環として、差別をなくす市民集会が文化会館で開催されました。開会行事の後、電動車いすサッカーでワールドカップ出場を目指す選手の思いと生活、恋愛などを描いたドキュメンタリー映画「蹴る」の上映が行われ、上映後、撮影された中村和彦監督から映画の裏話などのお話がありました。併せて宇陀市出身の森下裕美さんの少年アシベでの電動車いすサッカーを取り上げた回のパネル展もあり、多くの方が訪れていました。



▲パネル展の前でポーズをとる中村監督